

大学生が気仙沼でデートしたいと思えるようなデートプランを提示したら観光客は増えるのか

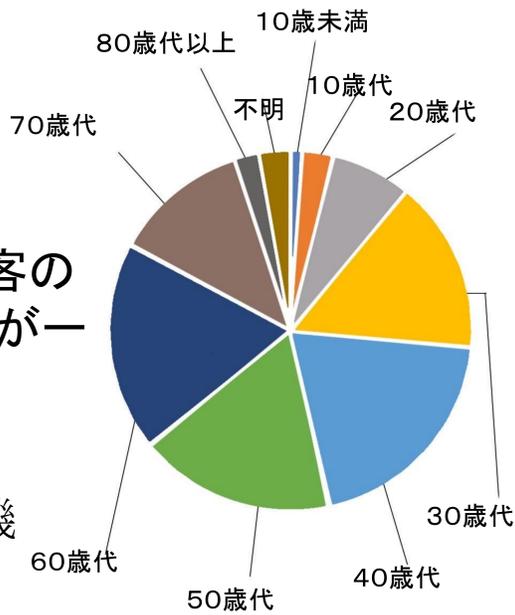
3405A

I 序論

【現状】

○気仙沼への観光客の中で20代の観光客が一番少ない。

資料→



○若者の旅行の動機として恋人とデートがとて多かった。

- 若者を気仙沼に呼び込みたい。
- 商店を大学生にあてて調査する。

⇒デートプランをパンフレットにして大学生に提示することで観光客を増やせるのではない

II 本論

○気仙沼満喫デートプランの作成、提示

- 1 気仙沼のデートスポットとしてお勧めする場所を選び、パンフレットに載せる写真を撮る。
- 2 実際にパンフを作成する。
- 3 宮城大学の学生にパンフを提示して気仙沼に行きたいと思ったかのアンケートをとる。

→ 宮城大学の学生にパンフを提示するは時間が間に合わず、断念。

→ そのため、大学生に向けての調査はすることができないが、パンフの作成は結果に残すため、続けることにした。

III 結論

今回の探究活動で新たな気仙沼の魅力を知ることができた。

特に、気仙沼市では、シーカヤックやカキの養殖体験といった数多くの海に触れ合える体験があり、また、大島のウオーキングツアーなどといった海以外でも沢山のイベントがあった。

しかし、制作したプランを大学生に紹介できなかったため、大学生からの意見や声を得られず、実際には気仙沼に来たいと思う人が増えたのかどうかという結果が出せなかった。



↑ これは作ったパンフレットです

IV 今後の課題と展望

○今後の課題は、大学生に制作したパンフレットをどのように紹介するかを検討して実行に移していくこと。

○実際に大学生にアンケートを取り、気仙沼にどのくらいの興味、関心を持っているのかを図る。

参考文献

<https://www.adgraphy.jp>

【若者の意識】若者が旅行に求めるもの

<http://kesenuma-kanko.jp>

気仙沼さ来てけらいん

令和2年度 気仙沼市観光推進機構
報告会資料